



7 授業に活用される 図書館づくり

調べ学習のサポート

調べ学習とは、実際に実験や見学、インタビューによる調査だけでなく、インターネットによる検索や、図書館資料を活用して、自ら調べて課題を解決する学習です。この学習を支えるには、司書教諭や学校司書、学級・教科担任の連携・協力、そして公共図書館関係職員等との連携・協力が重要となってきます。

ここでは、児童生徒の調べ学習をどうサポートするかについて、説明します。

(1) 年間指導計画を立てる

まず学級担任や教科担任は、どの教科の、どの単元で、図書館を活用し指導するのか、年間指導計画を立てましょう。それらを基に、司書教諭または図書主任（図書館主任）が、学校全体の一覧を作成しましょう。（p.101 参照）

(2) 資料をそろえる

司書教諭や図書主任、学校司書は、この年間指導計画を基に学級担任や教科担任と相談しながら資料をそろえます。何月頃に何年生の児童生徒が、どのような学習をするのかを事前に知っておくことで、自校にどの程度資料があるのかを調べたり、足りない資料を計画的に購入したり、公共図書館から借りたりすることで、資料を準備することができます。

学校司書が配置されていない場合は、司書教諭や図書主任などの図書館担当者や学級・教科担任が資料をそろえますが、どのようなものをそろえればよいか分からない場合は、最寄りの公共図書館へ相談（レファレンス）するとよいでしょう。



知っておくと便利！資料をそろえる方法と手段

- ① テーマに関連したパンフレットやリーフレットを取り寄せる。
- ② 新聞・雑誌からテーマに関連した記事をまとめておく。(県立図書館の新聞・雑誌検索データベース (p.103 参照) を使うと便利です！)
- ③ インターネットのサイトをチェックして保存・印刷する。
- ④ 他校との相互貸借
- ⑤ 公共図書館の団体貸出

※ どの単元でどのような資料を使ったか、記録を残しておきましょう。学年ごとに単元名やテーマを書き抜き、それに必要な資料がどのようなものか、またその中で自校にある資料はどれか等を記録しておく、次年度以降活用することができます。

(3) 授業に取り組む

① 単元の指導計画・指導案の中で

実際の指導者である学級担任や教科担任、また学年で取り組む場合は学年部で単元の指導計画を立てますが、その中で、どんな課題を設定し、どの場面で何を、どんな“調べるツール”を使って調べるのか、司書教諭や学校司書等の支援はどの場面で必要なかを明記しておくといでしょう。

② 調べる手順

最近では、インターネット検索のみで情報を集め、調べ学習に取り組む学校が見られます。ネットの活用は簡単・便利で扱いやすく、最新情報を手に入れることができます。しかし、調べ学習を進める上でもっとも基本となるのは、本や雑誌などのいわゆる活字メディアです。活字メディアからは、より正確で信頼できる情報を得ることができます。ネットだけに頼らせるのではなく、まずは活字メディアである本や雑誌から取り組ませることを心掛けましょう。

具体的には、まず辞典や百科事典、図鑑などの参考図書と呼ばれる本を使い、テーマの全体像や基本的な知識を得た上で、それらをヒントに

特定のテーマについての専門書やインターネット等で調べるとよいでしょう。

《様々なメディアの活用例》（『調べ学習のポータルサイト ナビポ』ホームページより）

◎メディア選択の例

必要な事柄	メディアの種類
データが欲しい	統計資料、年鑑、インターネット
図・映像が欲しい	図鑑、写真集、ビデオ・DVD、インターネット
現在の新しい情報が欲しい	新聞・雑誌、年鑑、インターネット
歴史的なことを知りたい	年表、歴史書、歴史事典

◎参考図書の活用例（図書の内容詳細については、「調べるためのレファレンス・ツールの紹介」p.102を参照）

調べる事柄	参考図書名
文字・言葉	国語辞典、漢字辞典、外国語辞典、方言辞典、ことわざ辞典 など
動物・植物・科学	動物・植物図鑑、百科事典、理科年表 など
地理・地名	地名辞典・地図・ガイドブック・時刻表・郷土資料 など
人物	人名事典・人名録・人物事典・百科事典 など
出来事・ニュース	年鑑・時事用語事典 など
統計	統計集・年鑑・白書 など
本	書籍目録・出版目録・ブックリスト など

③ 調べたことを記録し、まとめる

調べたことや、調べる過程の中で気がついたことや疑問に思ったことは必ず記録するように指導しましょう。その際、ワークシートやノートを児童生徒に持たせておくとよいでしょう。おもしろいなど思ったことをメモしたり、必要な資料をコピーして貼り付けたりするよう指導することが大切です。

そしてそれらのメモ等をもとに、調べたことをまとめさせます。新聞・壁新聞・レポートなど、まとめの形態は様々ですが、調べたことを伝えるために、まずは次の事柄を整理させるようにするとよいでしょう。

調べ学習「まとめ方」

- 1 タイトル…何を調べたのかがはっきりと分かるものを！
- 2 調べようと思ったきっかけ・理由
- 3 何をどうやって調べたか…調べたプロセスを伝える、本文の主要部分。
- 4 調べていく中で自分が分かったことや考えたこと
…調べた事柄をまとめた部分。結果や感想など。
- 5 どこで何を調べたか
…参考にした資料（新聞・本・インターネット等）や見学した場所名

④ 司書教諭や学校司書等による支援

司書教諭や学校司書（未配置校では図書主任等や学級担任）は、授業者と連携・協力して、学校図書館を活用する学習活動が円滑に行われるように、児童生徒を支援します。



指導上の留意点

- 児童生徒にとって、調べたいことがどこに出ているのかを選択するのは難しいことです。そこで、学習に入る前に、資料をある程度テーマごとに分け、どこから探せばよいかを分かりやすくして紹介したり、調べ学習の経験が少ない児童生徒に対しては、百科事典や図鑑などの索引を使った調べ方を指導したりするとよいでしょう。
- どの本を手にとったらよいか分からない児童生徒や、なかなか調べたことを書き進めない児童生徒には、積極的に声をかけましょう。質問をして、どこでつまずき、何を調べたかったのかを、再確認できるよう働きかけましょう。
- 児童生徒から質問された内容について、すぐに調べてページを開けて渡すことは控えましょう。ここで大切なことは“調べ方を教えること”です。そのことを念頭に、聞かれたことに誠意を持って答え、すぐに答えられないときは時間をとって必ず資料や情報を手渡すことが大切です。

(4) 事後の情報収集は事前の準備

学習のまとめとして、単元の最後に調べたことを新聞や模造紙にまとめたり、それを使って発表会等を行ったりしますが、司書教諭や学校司書、図書主任は可能な限り、それらを見せてもらいましょう。本がどのように使われたか、どんな資料がよかったのかを次回のために把握することは、次の調べ学習の事前の準備ともいえます。

《参考文献》

- 『子どもが生き生きする学校図書館作り』渡辺暢恵著 黎明書房 2008
- 『学校図書館入門』渡辺暢恵著 ミネルヴァ書房 2009
- 『学校図書館』No.691 2008年5月号 全国学校図書館協議会
- 『調べ学習のポータルサイト ナビポ』<http://navipo.jp> (株)ポプラ社
- 『あうる』No.91 2009年10+11月号 NPO図書館の学校

学校図書館活用年間計画(例)

(国/国語、生/生活、社/社会、理/理科)

		4月	5月	6月	7月
1年	単元等	○ことばを楽しもう 国/ことばのれんしゅう あいうえお	○図書館に行ってみよう ☆図書館探検 ☆図書館の使い方 ☆本の借り方・返し方 生/がっこうたんけん 国/はなしましろう ききましよう	○図鑑を使おう 国/なにがかくれているのでしょうか 生/はないっぱいになあれ 生/いきものさがし ☆本の探し方(ラベルの色と番号)	○たくさん本を読もう 国/おはなしのくに(日本の昔話・外国の昔話) 国/おおきなかが
	ねらい	・五十音やしりとりなどを扱ったことば遊び絵本に親しむ。 ・図書館利用の基礎として、学級文庫の使い方を学ぶ。	・実際に体験することを通して、図書館の使い方について学ぶ。	・昆虫や植物について書かれている図鑑や絵本を読む。	・いろいろな民話を紹介し、読み聞かせを行う。 ・読みたい本を探して読む。
2年	単元等	○図書館の使い方 ☆図書館の使い方 ☆本の借り方・返し方	○図鑑を使って調べよう 国/みつけたことを書こう	○いろいろな図書から調べよう 生/しぜんのおふしぎをさがそうよ(花と虫のおふしぎ) 国/じゅんじょに気をつけて読もう(すみれとあり)	○いろいろな生き物の本を読もう 国/図書館へ行くこう 国/鳥のちえ ☆本の探し方(背ラベル・書架)
	ねらい	・実際に体験することを通して、図書館の使い方について学ぶ。 ・知っているわらべうたや好きな詩を選んで読む。	・図鑑の使い方を学ぶ。	・調べたことをもとに話し合ったり、クイズカードを作りクイズ大会をする。	○いろいろな図書や人的情報源から必要な情報を集めよう ○生/おいしいやさいをそだてよう ・図書館の簡単な分類と配架について学ぶ。 ・野菜のおいしい育て方を図書で調べ、野菜作りの達人に教えてもらう。
3年	単元等	○図書館の使い方 ☆図書館の使い方 ☆本の借り方・返し方	○国語事典を使おう 国/国語じてんの引き方	○地域の図書館に行こう 社/みつめてみようわたしたちのまち ☆公共図書館の利用の仕方	○地図を使おう 社/みつめてみようわたしたちのまち(まちをたんけんしよう)
	単元等	○いろいろな詩集を読もう 国/元気に声に出し合おう(かえるのびよん・かもつれっしゃ)	○いろいろな図書や人的情報源から調べよう 国/調べたことの中からえらんで書こう(かんさつしたことを) 理/植物の育ち方(オクラ・ホウセンカ) ☆本の早い探し方(10進分類法・ラベルの見方・並べ方)	○いろいろな図書資料から調べよう 理/こん虫を調べよう 総/しいたけについて調べてみよう	○いろいろな図書資料やインターネットの情報から調べよう 国/目次をひらこう 総/しいたけについて調べてみよう ☆インターネット検索の仕方
	単元等	○いろいろな図書資料から調べよう 理/しぜんたんけん(生き物探し)			
	ねらい	・実際に体験することを通して、図書館の使い方について学ぶ。 ・好きな詩を選んで読む。	・国語事典の使い方を知る。 ・図書の並べ方や分類の仕方を知る。 ・調べたことをまとめる。	・実際に見学することを通して、公共図書館の使い方について学ぶ。 ・捕まえたバッタやトンボを実際に観察し、図鑑等で体のつくりを調べる。	・いろいろな地図を知る。 ・地図の見方や地図記号を知る。 ・「目次」や「さく引」の使い方を知り、それらを手がかりに調べることが出来る。

調べるためのレファレンス・ツールの紹介

レファレンス・ツールとは、レファレンスブック（参考図書・p.58 参照）、データベース、ブックリストなどレファレンスサービスに使用するいろいろな資料のことです。

○レファレンスブック

学校図書館でよく使われるレファレンスブックの中から、現在購入可能なものをいくつか紹介します。学習内容や地域に合わせて、各校で必要な資料をそろえましょう。

【事典・辞典・目録】

『総合百科事典ポプラディア』全 12 巻 ポプラ社 2010

五十音順の大型百科事典。補遺版(2005年)もあります。

「衣食住の歴史」「郷土料理」などテーマ別に編集された『ポプラディア情報館』シリーズ(全 50 巻)も出版されています。

『朝日ジュニア学習年鑑』朝日新聞出版 年刊

旧題『朝日ジュニア百科年鑑』。ジュニア版の年鑑。年刊のため、新しい情報を調べるのに便利です。

『21世紀子ども百科シリーズ』小学館 1991～

「地球環境館」「仕事館」などテーマ別に、イラストや写真を使って紹介しています。

『知のビジュアル百科』全 50 巻 あすなろ書房 2004～

テーマ別博物図鑑。

『新・どの本で調べるか 調べたい本がかならず探せる 2006年版』

リブリオ出版 2006

主題別に本を探すことができる図書目録。

『子どもの本 伝記を調べる 2000冊』日外アソシエーツ 2009

小学生以下を対象に書かれた本を、目次や内容とともに紹介してい

ます。シリーズで他に「社会」「歴史」「科学」があります。

『広辞苑』第6版 岩波書店 2008

代表的な国語辞典。百科事典としても役立ちます。

【その他調べものに役立つ本】

『科学のアルバム』新装版 全73巻 あかね書房 2005

写真図鑑。虫、植物、動物・鳥、天文・地学編に分かれています。

『体験取材！世界の国ぐに』既刊44巻 ポプラ社 2006～

国ごとに文化や暮らしを紹介しています。

『そだててあそぼう』既刊90冊 農山漁村文化協会 1997～

動植物の育て方、観察、利用法など。1冊につき1種類を取り上げているので詳しく調べられます。

○データベース

新聞、雑誌記事など膨大な情報から探すには、キーワードや掲載期間等で検索できるデータベースが便利です。インターネットで無料で利用できるものと、契約が必要な商用データベースがあります。

大分県立図書館で利用できる商用データベース（一部）

- ・ 聞蔵ビジュアルII（朝日新聞記事検索）
- ・ 日経テレコン21（日経4紙記事検索）
- ・ MAGAZINEPLUS（雑誌記事検索）

○その他のレファレンス・ツール

様々な学習要求に応えるためには、市販の出版物だけでは十分ではありません。各校の利用状況に合わせて、オリジナルのレファレンス・ツールも作成しましょう。

- ・ 新聞や雑誌の切り抜き

時事問題などは、本としてまとめるには時間がかかるので、新聞・雑誌も活用しましょう。テーマ別にファイルすると使いやすくなりま

す。小・中学生を対象とした新聞はもちろん、最近は一般紙にも子ども向けの解説記事が増えています。

・パンフレット、リーフレット

自治体作成の各種パンフレットや、地域の観光案内など。

・テーマ別のブックリスト

毎年学習する項目、修学旅行や社会見学の下調べ資料などについては、関係資料のリストを作っておくと役立ちます。

・パスファインダー

あるテーマに関する資料や情報を探するための手順を A4 版用紙 1 枚程度に簡単にまとめたもの。例：新聞記事の調べ方

・関係機関や人のリスト

図書館で情報が入手できないときには、資料館、研究機関や地域の詳しい人に聞く方法もあります。

参考：大分県内専門機関ガイド

<http://library.pref.oita.jp/>

・児童・生徒の作品（調べたものをまとめた成果物）

○インターネット

インターネット上には非常に多くの情報がありますが、信頼できるサイトかどうか見極める必要があります。

参考：大分県立図書館ホームページ <http://library.pref.oita.jp/>

・情報探索のためのリンク集（一般向き）

・調べ学習おすすめリンク集（子ども向き）

○大分県について調べる * 絶版あり

『大分百科事典』大分放送 1980

『大分歴史事典』大分放送 1990

インターネットで閲覧可。
<http://www.e-obs.com/rekisi/rekisi.htm>

『大分県歴史人物事典』大分合同新聞社 1996

『おおいたの歴史と文化』大分県教育委員会 2007（中学生以上）

『おおいたの歴史』大分県教育委員会 2006（小学生向）

『角川日本地名大辞典44 大分県』角川書店 1980

『日本歴史地名大系45 大分県の地名』平凡社 1995

『Guide-O おおいたの魅力徹底ガイド!』大分県 2006
インターネットでも閲覧可。
<http://www.pref.oita.jp/10400/guide-o/index.html>

『大分の祭り歳時記』大分合同新聞文化センター 2000

『大分県統計年鑑』大分県 年版
インターネットで閲覧可。
<http://www.pref.oita.jp/10800/nenkan/index.html>

『おおいたの調べ学習ガイド』 Vol. 1～9
大分の特産品や歴史など、調べ学習に役立つ本や調べ方を、テーマにそって紹介したパスファインダー。大分県立図書館作成。
インターネットで閲覧可。
<http://library.pref.oita.jp/>

教職員に対する情報提供

「学校図書館法」では、学校図書館の役割を「児童又は生徒及び教員の利用に供する」と定めています。この「教員」には、教諭だけでなく、校内の教育活動に直接かかわったり、または支えたりしている広い範囲の人々も含まれます。

学校図書館が教職員に対する情報提供を有効に行うために、また、「情報センター」としての機能を果たしていくためにも、以下のような資料を収集・保存し、提供できるよう心掛けましょう。

1 教育資料

世界の教育思潮、日本教育の潮流、教育界の動き、教育諸学会、文部行政、教育関係法規、教育界紙・誌、教育書、実務参考書

2 指導資料

学習指導要領・解説、教科書・指導書、市販の指導資料、教育雑誌、自作テスト・ドリル、自作資料

3 灰色資料（非売品の資料。秘密ではないが金銭を出しても入手できない資料）

新聞・雑誌切り抜き、研修会資料、研究発表資料、指導案、学会発表資料、PTA 資料

4 校務資料

年間計画、教科・領域経営案、報告書・集、記録書・集（写真）、創立○周年記念誌

5 行政資料

都道府県資料、市町村資料、広報紙、各種広報用リーフレット

6 視聴覚資料

映像資料、写真・古写真、音声資料、複製画、地図

7 デジタル資料

デジタル資料、デジタル化資料、素材集、デジタル写真、デジタル動画

8 情報源

校内の教材・教具、各種データベース、リンク集、サイト集、人材リスト

【インターネットを使った情報提供】

現在は、インターネットを使用した情報収集が盛んですが、インターネット情報は本や雑誌の情報に比べて、チェック機能が低く、信頼性が劣るものが少なくありません。個人が発信したものより、公的機関のホームページ情報を活用する等、信頼できるホームページの情報を活用したり、再度参考図書等で確認したりするなど、信頼できる情報かどうかを判断して活用しましょう。

●おすすめの検索エンジン

授業に役立つ学校図書館活用データベース

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/>

大分県教育センター教育資料検索

<http://kyouiku.oita-ed.jp/cgi-bin/edu-c/database.cgi>

《参考文献》「学校図書館の教員サポートのありかたの背景」森田盛行著

(『学校図書館』No.711 2010年1月号 全国学校図書館協議会)



(参考資料)

教科書出版会社 HPアドレス一覧表

教科書会社のホームページ（教育関連ホームページ）には、教科書に関連した情報や指導に役立つ情報、調べ学習に役立つ情報等が掲載されています。

会社名	略称	ホームページアドレス
開隆堂出版株式会社	開隆堂	http://www.kairyudo.co.jp/
株式会社学研ホールディングス	学研	http://manabi.gakken.jp/
学校図書株式会社	学図	http://www.gakuto.co.jp/
株式会社教育芸術社	教芸	http://www.kyogei.co.jp/
教育出版株式会社	教出	http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/
株式会社新興出版社啓林館	啓林館	http://www.shinko-keirin.co.jp/
株式会社三省堂	三省堂	http://www.sanseido-publ.co.jp/
大日本図書株式会社	大日本	http://www.dainippon-tosho.co.jp/
東京書籍株式会社	東書	http://www.tokyo-shoseki.co.jp/
株式会社帝国書院	帝国	http://www.teikokushoin.co.jp/
日本文教出版株式会社	日文	http://www.nichibun-g.co.jp/
光村図書出版株式会社	光村	http://www.mitsumura-tosho.co.jp/